

デバイス:Green-GO エンドポイント

🔍 デバイス概要

デバイスビューには、ネットワーク上のすべてのデバイスのリストと、それぞれのステータスおよび入力レベルの詳細が表示されます。

複数のデバイスを選択して同時に編集することが可能です。また、リストは利用可能な任意の列でソート（並べ替え）やフィルタリングができるため、大量のデバイスの中から目的のものを素早く検索できます。

マルチポートデバイス（インターフェース等）は、デバイスビュー上では1行にまとめて表示されますが、山型アイコンをクリックして展開することで、各ポートの詳細を表示できます。

Devices

DETAILS

☐	▼	Device name	▼	Device type	▼	Assigned user	▼	Input level	Active channels
☐	●	MCX left		Multichannel X desk		Showcall			Show
☐	●	MCX right		Multichannel X desk		call I/O			
☐	●	Lefty		Beltpack X		Call			To MAC
☐	●	Beltpack - A3		Beltpack X		Basic 4 Channel			

デバイスビューの項目

Status

- ステータスインジケータには、そのデバイスで発生している最も優先度の高い **channel state** (チャンネルステータス) が表示されます。

Device Name

Connections view (コネクションビュー) で設定されたデバイスの名前が表示されます。各デバイスを簡単に識別できるよう、固有かつ論理的な名前を付けることをお勧めします。

Device type

デバイスの機種名が表示されます。

※注意: **DETAILS** ボタンは、同じ機種のデバイスを1つ以上選択している場合のみ有効になります。異なる機種 (例: ベルトパックとインターフェース) を混ぜて選択した場合は、詳細設定は開けません。

Assigned User

デバイスにユーザーが割り当てられている場合、そのユーザー名が表示されます。ユーザーの割り当ては、device's settings tab (設定) タブで行います。マルチポートデバイスの場合、デバイスを展開して各ポートを表示することで、それぞれのポートに割り当てられたユーザーを確認できます。

Input Level

デバイスの現在の入力レベルを表示します。このレベルを確認するには、デバイス側で少なくとも1つのチャンネルのトーク(送信)が有効になっている必要があります。マルチポートデバイスの場合は、各ポートの合成(計算された)入力レベルが表示されます。

Active Channels

Active channels 列には、チャンネルの稼働状況が表示されます。チャンネルが「アクティブ」としてリストに表示されるためには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- トーク(Talk)が有効であること
- **Vox**(ボックス)が送信されていること
- ネットワーク上に受信相手が存在すること

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーには、ウィンドウのタイトルと **DETAILS** ボタンが表示されます。

- **DETAILS** 選択した **Device(s)**(デバイス)の画面を開きます。
チェックボックスを使用することで、同一タイプの複数デバイスを同時に選択し、編集することが可能です。このボタンは、1つ以上のデバイスが選択されている場合にのみ有効になります。

このボタンをクリックすると、選択された **Device(s)**(デバイス)のページが開きます。チェックボックスを使用して、同じ種類の複数のデバイスを同時に選択し、編集することができます。このボタンは、1つまたは複数のデバイスが選択されている場合にのみ有効です。

デバイスの作成

デバイスは手動で作成(追加)することはできません。ネットワーク上にデバイスが存在し、**connected** 状態になると、自動的にソフトウェアに追加されます。現場に実機がない状態(オフライン)で事前に設定を行いたい場合は、**Device Profiles**(デバイスプロファイル) を使用してください。

接続が切断されたデバイス

- ネットワーク上に存在しなくなったデバイスには、Lost ステータスが付与されます。対象デバイスの表示はアプリケーション内に残り続けますが、設定の編集はブロックされます。デバイスを意図的にネットワークから取り外す場合は、**REMOVE OFFLINE** ボタンを使用することで、ツリー構造およびデバイスオーバービューから完全に削除できます。

デバイスの同期不一致

- デバイスは、関連付けられたユーザーと同期が取れていない状態になることがあります。Green-GOシステムでは、複数のデバイスに同じユーザーが読み込まれることがあります。デバイス上で **Local changes**(ローカルでの変更) が行われると、この状態になります。

この問題は、それぞれ特定の用途に応じた3つの方法で解決できます。

- **Sync from user to device** ユーザーの設定をデバイスに再読み込みします。これにより、デバイス上で行われたすべてのローカル変更は上書きされます。
- **Sync from device to user** デバイス上のローカル変更をユーザーにコピーします。
この変更は同じユーザーが割り当てられている他のデバイスにも自動的に反映されます（ユーザーの変更は関連デバイスに自動適用されるため）。
- **Create user from device** デバイス上のローカル変更を保持しつつ、他のデバイスには影響させたくない場合は、新しいユーザーを作成することが推奨されます。
新規ユーザー作成時には名前の入力が必要で、作成したユーザーをそのままデバイスに割り当てることも可能です。

例

複数のフォロースポット操作者が同じユーザーをロードしています。そのため、すべての設定が完全になっ
ています。あるオペレーターが、他のオペレーターとは異なるチャンネル順を希望し、ベルトパックの
UIでこれを変更しました。変更が加えられたベルトパックは、同期がずれた状態になります。この変更をソフ
トウェアに反映させる必要があるため、「デバイスからユーザーを作成」という操作が実行されます。

Device view

Green-GO Control における Device は、実際の物理的デバイスを表します。

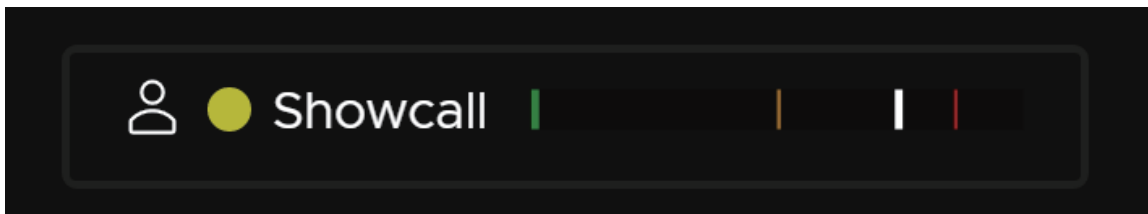
multi port device (マルチポートデバイス) の場合、各デバイスまたはデバイスポートに user (ユーザー) を割り
当てることができます。

デバイスのプロパティは、ユーザーで定義されたプロパティと同様の構成になっています。

ユーザーのプロパティを変更すると、その変更は自動的にデバイスのプロパティにも反映されます。

一方で、デバイス側 (実機または Green-GO Control ソフトウェア上) で行った変更は、ユーザーには自動反映さ
れません。

デバイスで行った変更をユーザーに反映させるには、デバイスのプロパティをユーザーへ 同期する 必要があり
ます。

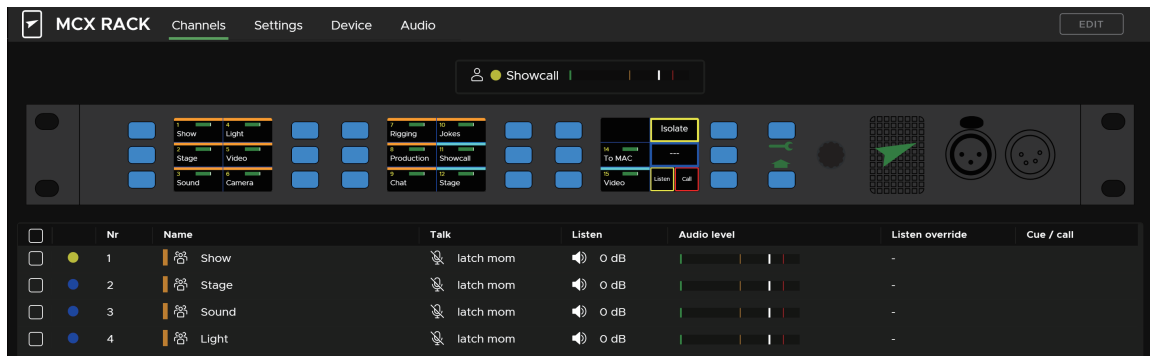


選択したデバイスのメインビューには、常にそのデバイスに割り当てられているユーザーが表示されます。
また、このエリアにはメニューツリーからユーザーをドラッグ&ドロップして、デバイスに割り当てることもできま
す。

このセクションをクリックすると、割り当てられているユーザーのメインビューへ直接移動します。

ユーザー表示の下には、デバイスの画像が表示が示されます。

ここには、実機と同様のチャンネル割り当ておよび LED のステータスカラーがそのまま表示されます。



Channels タブ

Channels タブは、ユーザービューの Channels tab (Channels タブ)と同様の形式でチャンネルを表示します。ただし、ここではこの物理デバイスに関する状態とレベルのみが表示されます。

各チャンネルについて、以下の情報が表示されます：

- **Channel state** (チャンネル状態)
- **Channel assignment** (チャンネル割り当て)
- **Talk and listen states** (Talk / Listen 状態)
- **Channel VU** (チャンネル VU)

なお、デバイスのチャンネル割り当ては、割り当てられているユーザーの設定と異なる場合があります。この場合、デバイスの状態は **Out of sync** (同期外) となります。

Settings タブ

Settings タブには、User Assignment カードと、すべての **user settings cards** (ユーザー設定カード)が表示されます。

これらのカードの設定は、ユーザーからデバイスへは自動的に同期されますが、デバイスからユーザーへは同期されません。

User Assignment Card

- **Assigned User** 現在割り当てられているユーザーを表示します。ドロップダウンメニューから別のユーザーを選択して割り当てることができます。
- **General** ユーザーの一般プロパティが表示されます。これらはデバイスの Settings タブでは編集できず、**user** (ユーザー) 側の Settings タブで編集します。
- **Display Name** 割り当てられているユーザーに表示名が設定されている場合、ここに表示されます。
- **ID** 割り当てられているユーザーの ID を表示します。
- **Description** 割り当てられたユーザーの説明が指定されている場合、ここに表示されます。
- **Color** 割り当てられたユーザーの色を表示します。
- **Mode** **user mode** (ユーザーモード) を表示します。

Device タブ

Device タブには、デバイス固有の設定を含むすべてのカードが表示されます。
このタブでは、該当デバイスの各種プロパティを確認・編集することができます。

- [Device settings](#) すべてのデバイスに用意されている、その機種固有の設定カード。
- [Line In/Out](#) ライン入力／出力を備えたデバイスの設定。
- [GPIO](#) GPIO ポートを備えたデバイスの設定。
- [Button functions](#) 割り当て可能なボタンを持つデバイスの設定。

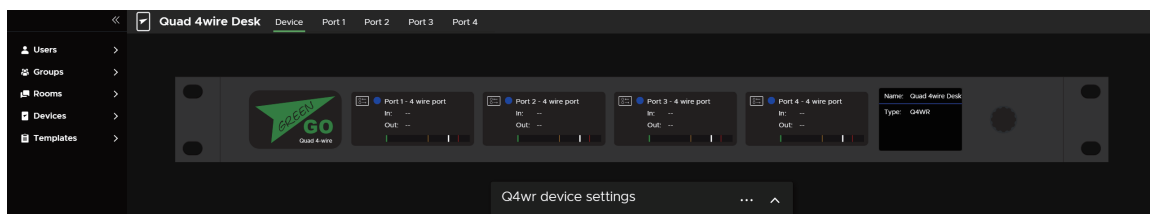
Audioタブ

正しい音声入力レベルの設定は、Green-GO システムの音質において非常に重要です。
そのため、デバイスのオーディオ設定は常に専用のタブに表示されます。

Audio タブを選択した状態でデバイス一覧を切り替えることで、これらの設定に素早くアクセスできます。

[Audio Profile](#)(オーディオプロファイル)

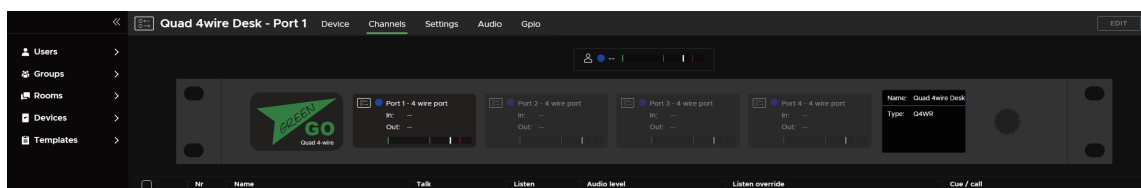
マルチポートデバイスタブ



Quad 4-Wire Interface、Dante Interface X、または初代の Bridge インターフェースなど、複数のポートを備えた Green-GO インターフェースでは、オーバービューページにすべてのポートを備えたデバイスのグラフィック表示と、そのデバイス固有の設定カードが表示されます。

ポートのタブを選択するか、デバイスのグラフィック・オーバービュー上のポートをクリックすると、対応するポートのビューが表示されます。

ポートタブ



ポートタブ

マルチポートデバイスの「ポート」ビューは、単一のGreen-GOデバイスやユーザーと同様の構成となっており、[Channel\(チャンネル\)タブ](#)、[Setting\(設定\)タブ](#)、[Audio\(オーディオ\)タブ](#)で構成されています。

ただし、ポート割り当てカードでポートが [Line In/Out](#) モードに設定されている場合は例外です。その場合、これらのタブは利用できず、[Line In/Out](#)カードのみが表示されます。

? Line In/Out ユーザーの割り当て

インターフェースのポートに Line In/Out ユーザーがロードされると、そのポートのモードは自動的に Line In/Out モードに設定されます。

デバイスのドラッグ&ドロップ

🕒 2024年5月26日 🕒 2021年2月3日 👤 [Henk-Jan Blok, Timo Toups](#)



株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682